Azure プラットフォーム イメージの検証

Cloud Volumes ONTAP

NetApp
February 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/storage-management-cloud-volumes-ontap/concept-azure-image-verification.html on February 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

Azure プラットフォーム イメージの検証 . . . 1
Cloud Volumes ONTAPの Azure Marketplace イメージ検証 . . . 1
Azure による公開 VHD ファイルの変更 . . . 1
Cloud Volumes ONTAP用の Azure イメージ ファイルをダウンロードします。 . . . 1
AzureマーケットプレイスからCloud Volumes ONTAPのVHDイメージをエクスポートする . . . 3
Linux 上の Azure Cloud Shell を使用して VHD ファイルをエクスポートする . . . 4
Linux 上の Azure CLI を使用して VHD ファイルをエクスポートする . . . 6
ファイルの署名を検証する . . . 9
Cloud Volumes ONTAPの Azure Marketplace イメージ署名検証 . . . 9
Linux 上のCloud Volumes ONTAPの Azure Marketplace イメージ署名を確認する . . . 10
macOS 上のCloud Volumes ONTAPの Azure Marketplace イメージ署名を確認する . . . 11

Azure プラットフォーム イメージの検証

Cloud Volumes ONTAPの Azure Marketplace イメージ検証

Azure イメージ検証は、強化されたNetAppセキュリティ要件に準拠しています。画像ファイルの検証は簡単なプロセスです。ただし、Azure イメージ署名の検証では、Azure マーケットプレイスで変更されるため、Azure VHD イメージ ファイルに対して特定の考慮が必要になります。

> Azure イメージ検証は、Cloud Volumes ONTAP 9.15.0 以降でサポートされています。

Azure による公開 VHD ファイルの変更

VHD ファイルの先頭の 1 MB (1048576 バイト) と末尾の 512 バイトは、Azure によって変更されます。NetApp は残りの VHD ファイルに署名します。

この例では、VHD ファイルは 10 GB です。 NetAppが署名した部分は緑色でマークされています (10 GB - 1 MB - 512 バイト)。

関連リンク

- "ページフォールトブログ: OpenSSL を使った署名と検証の方法"
- "Azure Marketplace イメージを使用して、Azure Stack Edge Pro GPU 用の VM イメージを作成する | Microsoft Learn"
- "Azure CLI を使用してマネージド ディスクをストレージ アカウントにエクスポート/コピーする | Microsoft Learn"
- "Azure Cloud Shell クイックスタート - Bash | Microsoft Learn"
- "Azure CLI のインストール方法 | Microsoft Learn"
- "az storage blob コピー | Microsoft Learn"
- "Azure CLI でSign in- ログインと認証 | Microsoft Learn"

Cloud Volumes ONTAP用の Azure イメージ ファイルをダウンロードします。

Azureイメージファイルは、 "NetAppサポート サイト" 。

tar.gz ファイルには、イメージ署名の検証に必要なファイルが含まれています。 *tar.gz* ファイルと一緒に、イメージの *checksum* ファイルもダウンロードする必要があります。チェックサムファイルには、 `md5`そして

`sha256`*tar.gz* ファイルのチェックサム。

手順

1. に行く "NetAppサポート サイトのCloud Volumes ONTAP製品ページ"*ダウンロード*セクションから必要なソフトウェア バージョンをダウンロードします。
2. Cloud Volumes ONTAP のダウンロード ページで、Azure イメージのダウンロード可能なファイルをクリックし、*tar.gz* ファイルをダウンロードします。

3. Linuxでは、 `md5sum AZURE-<version>_PKG.TAR.GZ` 。

   macOSでは、 `sha256sum AZURE-<version>_PKG.TAR.GZ` 。

4. 確認するには `md5sum`そして `sha256sum`値は、ダウンロードした Azure イメージの値と一致します。
5. LinuxおよびmacOSでは、 `tar -xzf`指示。

   抽出された *tar.gz* ファイルには、ダイジェスト (*.sig*) ファイル、公開鍵証明書 (*.pem*) ファイル、およびチェーン証明書 (*.pem*) ファイルが含まれています。

   tar.gz ファイルを抽出した後の出力例:

```
$ ls cert/ -l
-rw-r----- 1 netapp netapp  384 May  13 13:00 9.15.0P1_azure_digest.sig
-rw-r----- 1 netapp netapp 2365 May  13 13:00 Certificate-
9.15.0P1_azure.pem
-rw-r----- 1 netapp netapp 8537 May  13 13:00 Certificate-Chain-
9.15.0P1_azure.pem
-rw-r----- 1 netapp netapp 8537 May  13 13:00 version_readme
```

Azureマーケットプレイスから Cloud Volumes ONTAPのVHDイメージをエクスポートする

VHD イメージが Azure クラウドに公開されると、 NetAppによって管理されなくなります。代わりに、公開されたイメージは Azure マーケットプレイスに配置されます。イメージが Azure マーケットプレイスにステージングされ公開されると、Azure は VHD の先頭の 1 MB と末尾の 512 バイトを変更します。 VHD ファイルの署名を検証するには、Azure によって変更された VHD イメージを Azure マーケットプレイスからエクスポートする必要があります。

開始する前に

Azure CLI がシステムにインストールされていること、または Azure ポータルから Azure Cloud Shell が利用できることを確認してください。 Azure CLIのインストール方法の詳細については、 "Microsoft ドキュメント: Azure CLI のインストール方法" 。

手順

1. *version_readme* ファイルの内容を使用して、システム上のCloud Volumes ONTAPバージョンを Azure マーケットプレイスのイメージ バージョンにマッピングします。 Cloud Volumes ONTAPのバージョンは次のように表されます。 `buildname` Azureマーケットプレイスイメージバージョンは次のように表されます。 `version`バージョン マッピングで。

   次の例では、 Cloud Volumes ONTAPバージョン `9.15.0P1`Azureマーケットプレイスのイメージバージョンにマッピングされます `9150.01000024.05090105。この Azure マーケットプレイスのイメージバージョンは、後でイメージ URN を設定するために使用されます。

   ```
   [
    "buildname": "9.15.0P1",
       "publisher": "netapp",
        "version": "9150.01000024.05090105"

   ]
   ```

2. VM を作成するリージョンを特定します。地域名は、 `locName`マーケットプレイスイメージの URN を設定するときに使用する変数。利用可能なリージョンを一覧表示するには、次のコマンドを実行します。

   ```
   az account list-locations -o table
   ```

   この表では、地域名は `Name`分野。

```
$ az account list-locations -o table
DisplayName                Name                  RegionalDisplayName
------------------------  -------------------
-------------------------------------
East US                    eastus                (US) East US
East US 2                  eastus2               (US) East US 2
South Central US           southcentralus        (US) South Central US
...
```

3. 以下の表で、対応するCloud Volumes ONTAPバージョンと VM 展開タイプの SKU 名を確認します。 SKU 名は、 `skuName`マーケットプレイスイメージの URN を設定するときに使用する変数。

   たとえば、 Cloud Volumes ONTAP 9.15.0を使用したすべてのシングルノード展開では、 `ontap_cloud_byol` SKU 名として。

* Cloud Volumes ONTAPバージョン*	**VM**の展開	**SKU**名
9.17.1以降	Azureマーケットプレイス	ontap_cloud_direct_gen2
9.17.1以降	NetApp Console	ontap_cloud_gen2
9.16.1	Azureマーケットプレイス	ontap_cloud_direct
9.16.1	コンソール	オンタップクラウド
9.15.1	コンソール	オンタップクラウド
9.15.0	コンソール、単一ノードの展開	ontap_cloud_byol
9.15.0	コンソール、高可用性（HA）展開	ontap_cloud_byol_ha

4. ONTAPバージョンと Azure マーケットプレイス イメージをマッピングした後、Azure Cloud Shell または Azure CLI を使用して Azure マーケットプレイスから VHD ファイルをエクスポートします。

Linux 上の **Azure Cloud Shell** を使用して **VHD** ファイルをエクスポートする

Azure Cloud Shell から、マーケットプレイス イメージを VHD ファイル (たとえば、*9150.01000024.05090105.vhd*) にエクスポートし、ローカル Linux システムにダウンロードします。 Azure マーケットプレイスから VHD イメージを取得するには、次の手順を実行します。

手順

1. マーケットプレイス イメージの URN とその他のパラメータを設定します。 URN形式は `<publisher>:<offer>:<sku>:<version>`。必要に応じて、 NetAppマーケットプレイスのイメージを一覧表示して、正しいイメージ バージョンを確認できます。

```
PS /home/user1> $urn="netapp:netapp-ontap-
cloud:ontap_cloud_byol:9150.01000024.05090105"
PS /home/user1> $locName="eastus2"
PS /home/user1> $pubName="netapp"
PS /home/user1> $offerName="netapp-ontap-cloud"
PS /home/user1> $skuName="ontap_cloud_byol"
PS /home/user1> Get-AzVMImage -Location $locName -PublisherName $pubName
-Offer $offerName -Sku $skuName |select version
...
141.20231128
9.141.20240131
9.150.20240213
9150.01000024.05090105
...
```

2. 一致するイメージ バージョンを持つマーケットプレイス イメージから新しいマネージド ディスクを作成します。

```
PS /home/user1> $diskName = “9150.01000024.05090105-managed-disk"
PS /home/user1> $diskRG = “fnf1”
PS /home/user1> az disk create -g $diskRG -n $diskName --image-reference
$urn
PS /home/user1> $sas = az disk grant-access --duration-in-seconds 3600
--access-level Read --name $diskName --resource-group $diskRG
PS /home/user1> $diskAccessSAS = ($sas | ConvertFrom-Json)[0].accessSas
```

3. マネージド ディスクから VHD ファイルを Azure Storage にエクスポートします。適切なアクセス レベルを持つコンテナーを作成します。この例では、 `vm-images`と `Container`アクセス レベル。 Azure ポータルからストレージ アカウントのアクセス キーを取得します: ストレージ アカウント **> *examplesaname*** **>** アクセス キー **> *key1* > *key* >** 表示 **> *<copy>***

```
PS /home/user1> $storageAccountName = “examplesaname”
PS /home/user1> $containerName = “vm-images”
PS /home/user1> $storageAccountKey = "<replace with the above access
key>"
PS /home/user1> $destBlobName = “9150.01000024.05090105.vhd”
PS /home/user1> $destContext = New-AzureStorageContext
-StorageAccountName $storageAccountName -StorageAccountKey
$storageAccountKey
PS /home/user1> Start-AzureStorageBlobCopy -AbsoluteUri $diskAccessSAS
-DestContainer $containerName -DestContext $destContext -DestBlob
$destBlobName
PS /home/user1> Get-AzureStorageBlobCopyState –Container $containerName
–Context $destContext -Blob $destBlobName
```

4. 生成されたイメージを Linux システムにダウンロードします。使用 `wget`VHD ファイルをダウンロードするコマンド:

```
wget <URL of filename/Containers/vm-images/9150.01000024.05090105.vhd>
```

URL は標準形式に従います。自動化のために、以下のように URL 文字列を導出できます。あるいは、Azure CLIを使用することもできます。 `az` URL を取得するコマンド。 URLの例:https://examplesaname.bluexpinfraprod.eastus2.data.azurecr.io/vm-images/9150.01000024.05090105.vhd[]

5. 管理ディスクをクリーンアップする

```
PS /home/user1> Revoke-AzDiskAccess -ResourceGroupName $diskRG -DiskName
$diskName
PS /home/user1> Remove-AzDisk -ResourceGroupName $diskRG -DiskName
$diskName
```

Linux 上の Azure CLI を使用して VHD ファイルをエクスポートする

ローカル Linux システムから Azure CLI を使用して、マーケットプレイス イメージを VHD ファイルにエクスポートします。

手順

1. Azure CLI にログインし、マーケットプレイスのイメージを一覧表示します。

```
% az login --use-device-code
```

2. サインインするには、ウェブブラウザを使用してページを開きます https://microsoft.com/devicelogin認証コードを入力します。

```
% az vm image list --all --publisher netapp --offer netapp-ontap-cloud
--sku ontap_cloud_byol
...
{
"architecture": "x64",
"offer": "netapp-ontap-cloud",
"publisher": "netapp",
"sku": "ontap_cloud_byol",
"urn": "netapp:netapp-ontap-
cloud:ontap_cloud_byol:9150.01000024.05090105",
"version": "9150.01000024.05090105"
},
...
```

3. 一致するイメージ バージョンを持つマーケットプレイス イメージから新しいマネージド ディスクを作成します。

```
% export urn="netapp:netapp-ontap-
cloud:ontap_cloud_byol:9150.01000024.05090105"
% export diskName="9150.01000024.05090105-managed-disk"
% export diskRG="new_rg_your_rg"
% az disk create -g $diskRG -n $diskName --image-reference $urn
% az disk grant-access --duration-in-seconds 3600 --access-level Read
--name $diskName --resource-group $diskRG
{
  "accessSas": "https://md-
xxxxxx.bluexpinfraprod.eastus2.data.azurecr.io/xxxxxxx/abcd?sv=2018-03-
28&sr=b&si=xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxx&sigxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx"
}
% export diskAccessSAS="https://md-
xxxxxx.bluexpinfraprod.eastus2.data.azurecr.io/xxxxxxx/abcd?sv=2018-03-
28&sr=b&si=xxxxxxxx-xxxx-xx-xx-xx&sigxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx"
```

プロセスを自動化するには、標準出力から SAS を抽出する必要があります。ガイダンスについては適切なドキュメントを参照してください。

4. 管理ディスクから VHD ファイルをエクスポートします。

   a. 適切なアクセス レベルを持つコンテナーを作成します。この例では、 `vm-images`と `Container`アクセス レベルが使用されます。

   b. Azure ポータルからストレージ アカウントのアクセス キーを取得します: ストレージ アカウント **>** ***examplesaname*** **>** アクセス キー **>** ***key1*** **>** ***key*** **>** 表示 **>** ***<copy>***

      また、 `az`このステップのコマンド。

```
% export storageAccountName="examplesaname"
% export containerName="vm-images"
% export storageAccountKey="xxxxxxxxxx"
% export destBlobName="9150.01000024.05090105.vhd"

% az storage blob copy start --source-uri $diskAccessSAS --destination
-container $containerName --account-name $storageAccountName --account
-key $storageAccountKey --destination-blob $destBlobName

{
  "client_request_id": "xxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxx",
  "copy_id": "xxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxx",
  "copy_status": "pending",
  "date": "2022-11-02T22:02:38+00:00",
  "etag": "\"0xXXXXXXXXXXXXXXXXX\"",
  "last_modified": "2022-11-02T22:02:39+00:00",
  "request_id": "xxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxx",
  "version": "2020-06-12",
  "version_id": null
}
```

5. BLOB コピーのステータスを確認します。

```
% az storage blob show --name $destBlobName --container-name
$containerName --account-name $storageAccountName

....
    "copy": {
      "completionTime": null,
      "destinationSnapshot": null,
      "id": "xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxx",
      "incrementalCopy": null,
      "progress": "10737418752/10737418752",
      "source": "https://md-
xxxxxx.bluexpinfraprod.eastus2.data.azurecr.io/xxxxx/abcd?sv=2018-03-
28&sr=b&si=xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxx",
      "status": "success",
      "statusDescription": null
    },
....
```

6. 生成されたイメージを Linux サーバーにダウンロードします。

```
wget <URL of file examplesaname/Containers/vm-
images/9150.01000024.05090105.vhd>
```

URL は標準形式に従います。自動化のために、以下のように URL 文字列を導出できます。あるいは、Azure CLIを使用することもできます。 `az` URL を取得するコマンド。 URLの例:https://examplesaname.bluexpinfraprod.eastus2.data.azurecr.io/vm-images/9150.01000024.05090105.vhd[]

7. 管理ディスクをクリーンアップする

```
az disk revoke-access --name $diskName --resource-group $diskRG
az disk delete --name $diskName --resource-group $diskRG --yes
```

ファイルの署名を検証する

Cloud Volumes ONTAPの Azure Marketplace イメージ署名検証

Azure イメージ検証プロセスでは、先頭の 1 MB と末尾の 512 バイトを削除し、ハッシュ関数を適用して、VHD ファイルからダイジェスト ファイルを生成します。署名手順に合わせて、ハッシュには *sha256* が使用されます。

ファイル署名検証ワークフローの概要

以下は、ファイル署名検証ワークフロー プロセスの概要です。

- Azureイメージを "NetAppサポート サイト"ダイジェスト (.sig) ファイル、公開鍵証明書 (.pem) ファイル、チェーン証明書 (.pem) ファイルを抽出します。参照"Azure イメージ ダイジェスト ファイルをダウンロードする"詳細についてはこちらをご覧ください。
- 信頼チェーンの検証。
- 公開鍵証明書 (.pem) から公開鍵 (.pub) を抽出します。
- 抽出された公開鍵を使用してダイジェスト ファイルを復号化します。
- 先頭の 1 MB と末尾の 512 バイトを削除した後、イメージ ファイルから作成された一時ファイルの新しく生成されたダイジェストと結果を比較します。この手順は、OpenSSL コマンドライン ツールを使用して実行されます。 OpenSSL CLI ツールは、ファイルの一致が成功または失敗した場合に適切なメッセー

ジを表示します。

```
openssl dgst -verify <public_key> -keyform <form> <hash_function>
-signature <digest_file> -binary <temporary_file>
```

Linux 上のCloud Volumes ONTAPの Azure Marketplace イメージ署名を確認する

Linux 上でエクスポートされた VHD ファイル署名の検証には、信頼チェーンの検証、ファイルの編集、署名の検証が含まれます。

手順

1. Azureイメージファイルを以下からダウンロードします。 "NetAppサポート サイト"ダイジェスト (.sig) ファイル、公開鍵証明書 (.pem) ファイル、チェーン証明書 (.pem) ファイルを抽出します。

   参照 "Azure イメージ ダイジェスト ファイルをダウンロードする"詳細についてはこちらをご覧ください。

2. 信頼チェーンを検証します。

```
% openssl verify -CAfile Certificate-Chain-9.15.0P1_azure.pem
Certificate-9.15.0P1_azure.pem
Certificate-9.15.0P1_azure.pem: OK
```

3. VHD ファイルの先頭の 1 MB (1,048,576 バイト) と末尾の 512 バイトを削除します。使用する場合 `tail`、 `-c +K`オプションは、ファイルの `K` 番目のバイトからバイトを生成します。したがって、`1048577`は `tail -c`。

```
% tail -c +1048577 ./9150.01000024.05090105.vhd > ./sign.tmp.tail
% head -c -512 ./sign.tmp.tail > sign.tmp
% rm ./sign.tmp.tail
```

4. OpenSSL を使用して証明書から公開キーを抽出し、署名ファイルと公開キーを使用してストリップされたファイル (sign.tmp) を検証します。

   コマンド プロンプトには、検証に基づいて成功または失敗を示すメッセージが表示されます。

```
% openssl x509 -pubkey -noout -in ./Certificate-9.15.0P1_azure.pem >
./Code-Sign-Cert-Public-key.pub

% openssl dgst -verify Code-Sign-Cert-Public-key.pub -keyform PEM
-sha256 -signature digest.sig -binary ./sign.tmp
Verification OK

% openssl dgst -verify Code-Sign-Cert-Public-key.pub -keyform PEM
-sha256 -signature digest.sig -binary ./another_file_from_nowhere.tmp
Verification Failure
```

5. ワークスペースをクリーンアップします。

```
% rm ./9150.01000024.05090105.vhd ./sign.tmp
% rm *.sig *.pub *.pem
```

macOS 上のCloud Volumes ONTAPの Azure Marketplace イメージ署名を確認する

Linux 上でエクスポートされた VHD ファイル署名の検証には、信頼チェーンの検証、ファイルの編集、署名の検証が含まれます。

手順

1. Azureイメージファイルを以下からダウンロードします。 "NetAppサポート サイト"ダイジェスト (.sig) ファイル、公開鍵証明書 (.pem) ファイル、チェーン証明書 (.pem) ファイルを抽出します。

   参照 "Azure イメージ ダイジェスト ファイルをダウンロードする"詳細についてはこちらをご覧ください。

2. 信頼チェーンを検証します。

```
% openssl verify -CAfile Certificate-Chain-9.15.0P1_azure.pem
Certificate-9.15.0P1_azure.pem
Certificate-9.15.0P1_azure.pem: OK
```

3. VHD ファイルの先頭の 1 MB (1,048,576 バイト) と末尾の 512 バイトを削除します。使用する場合 `tail`、 `-c +K`オプションは、ファイルの `K` 番目のバイトからバイトを生成します。したがって、`1048577`は `tail -c`。 macOS では、tail コマンドが完了するまでに約 10 分かかる場合があることに注意してください。

```
% tail -c +1048577 ./9150.01000024.05090105.vhd > ./sign.tmp.tail
% head -c -512 ./sign.tmp.tail > sign.tmp
% rm ./sign.tmp.tail
```

4. OpenSSL を使用して証明書から公開キーを抽出し、署名ファイルと公開キーを使用してストリップされたファイル (sign.tmp) を検証します。コマンド プロンプトには、検証に基づいて成功または失敗を示すメッセージが表示されます。

```
% openssl x509 -pubkey -noout -in ./Certificate-9.15.0P1_azure.pem >
./Code-Sign-Cert-Public-key.pub

% openssl dgst -verify Code-Sign-Cert-Public-key.pub -keyform PEM
-sha256 -signature digest.sig -binary ./sign.tmp
Verified OK

% openssl dgst -verify Code-Sign-Cert-Public-key.pub -keyform PEM
-sha256 -signature digest.sig -binary ./another_file_from_nowhere.tmp
Verification Failure
```

5. ワークスペースをクリーンアップします。

```
% rm ./9150.01000024.05090105.vhd ./sign.tmp
% rm *.sig *.pub *.pem
```

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。